



かしま友愛

第27号

2014年6月18日

社会福祉法人
加島友愛会事務局
大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

第1回

理事会・評議員会開催される



五月二十四日(土) 加島友愛会の二〇一四年度第一回理事会・評議員会が、理事・監事・相談役・評議員・施設長・本部事務局などが出席して開催されました。

開会に先立ち、司会より「本日は初代理事長である故西岡要氏の十三回目の命日にあたる」と紹介。全員で黙祷をささげました。

平田理事長から「社会福祉レインプランの第一期が職員スタッフ・理事・評議員、周辺地域のみなさんの支援・協力により一定完了した。リュミエール加島の入所者も徐々に増えています」と感謝の言葉がありました。

「第二期については、法人全体の事業運営状況などを勘案し、資金・人材などの力を蓄積すべきと判断。職員の見解・企画を尊重しながら、専門家の助言、事業所視察、実践事例研究などを進め、具体的実施にむけた議論を深化させていきたい」と挨拶しました。議長に市村評議員を選出し、西岡常務理事が二〇一三年度事業報告(二面)、櫻井副理事長が決算報告(別紙)を行い、熱心に討議され採決されました。

かしま障害者センター 夕涼み会

7月26日(土) 17時

第5回現場実践交流会

8月 9日(土) 13時30分

加寿苑 夏まつり

8月16日(土) 16時30分



夏の予定

コラム

かしまの光

四月一日消費税が十

七年ぶりに上げられ八
%となった▼消費税法

の過程を振り返ると、一九八六年に「売上税構想」が浮上、そして一九八九年四月に初めて消費税三%が導入され一九九七年に五%に引上げられた。消費税を廃止し「国民福祉税」七%構想も出されたが、撤回された▼消費税導入・引上げ時には国民的、政治的にも大きく取り上げられ、時の政権を揺るがす大問題になっていた。今回の引上げにおいては、これまでとの「雰囲気」の違いを感じた人も多いのではないか。背景には、「国の財政再建の必要性と増税分は全額社会保障財源にまわす」という国民「理解」が得られたからだとされている▼来年十月には一〇%に引上げられる。今回そして来年の消費増税が社会保障に充填され、私たちの「理解」がどうなるか注目したい。

二〇一三年度 事業活動報告(要旨)

利用者・ご家族、地域のみなさんのご支援・ご協力と、職員のごんばりによって、当法人の二〇一三年度の社会福祉事業は総じて順調に拡大成長してきました。厚く感謝申し上げます。

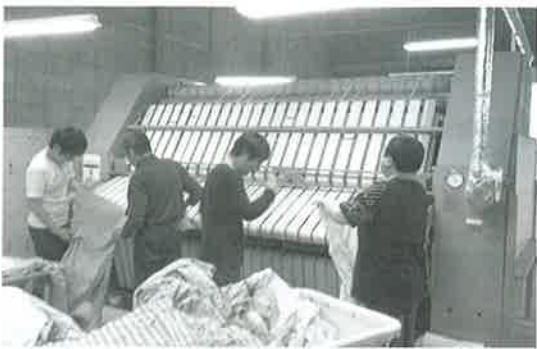
レインボープラン十年計画第一期の完了

介護付き有料老人ホーム『リュミエール加島』をはじめ第一期計画の諸課題は、昨年五月に豊中市に障害者就労継続支援A型(雇用型)『ル・プラス』の開始をもって完了しました。

第二期については、課題として保育・児童・福祉人材育成などを提起、他地域への事業展開も提起しています。

しかし、リュミエール加島の入居者確保や加寿苑のサービス残業問題など差し迫った課題解決のため、二〇一三年度は全く取り留めませんでした。

新年度では、職員の現場としての要望や提案、専門家の助言や調査など第二期準備を進める必要があると考えております。



▶リネン作業(ル・プラス)

職員について

法人全体では、豊中市での新規事業開始もあり職員総数はこの四月現在で三百八名と増加し、本務職員百三十九名・常勤嘱託職員三十九名・非常勤職員百二十名となっています。障害者雇用数は二十三名で、雇用率は一〇・八%(法定雇用率二・〇%)です。

職員の人員不足は深刻さを増しています。特に加寿苑やグループホームなど各施設・事業は、厳しい状況にあります。

求人に対する応募者が少なく、定着性が低く離職率が高い中で、本部・施設は人材確保に努めてきました。

本部機能の強化と健全な事業運営・経営

増大する事業量と職員増にもなつ本部事務局の機能強化が課題となっていました。事務職員二名を採用し対応しました。

労働組合との対応や協議では、本部が責任をもって解決に努めました。また交通事故などに対しても、施設報告に適切な助言・指導を行いました。

本部と施設長で構成する経営会議を毎月定例開催し、事業実績・職員動向・事業収支など友愛会事業全体・各施設・事業の状況把握・共有化を図り、適時方針を立て実施してきました。

人事考課制度の実施

本務職員を対象に、年二回人事評価を行い、結果を人事評価会議(理事長・本部事務局長・施設長)に報告、人事評価会議での結論を基に管理職を含め夏季賞与、冬季賞与に反映しました。

課長以上の管理職については、理事長が全員に二〇一三年度業務評価をアンケート形式で自己申告させ、理事長の総合評価により新年度の昇給に反映しました。

法人全体の事業実績と事業収支

利用者の状況については、高齢・障害部門の合計では実数九百六十九人のご利用がありました。(昨年十一月時点)うち、高齢部門では五百十三人の利用者の九四・五%が淀川区内に居住のある方で、障害部門では淀川区内に居住のある方は四二・八%と、障害福祉サービスには大阪市内

全域からご利用いただき、豊中市にも広まってきました。

施設・事業の稼働率・利用者数については、リュミエール加島がこの四月で居室稼働率八八%と増加。加寿苑、希望の家、アンダンテ加島、障害者センターの各事業は、ほぼ数値目標に達するか、それ以上の実績をみています。

事業収支については、就労支援活動の部では、ル・プラスの開設により収入・支出ともに大幅に増加していますが、収支差額は百二十九万八千円でした。

事業活動収支の部では、収入十五億八千九百九十二万円(二・二%増)・支出十四億二千二十八万円(七・三%増)で、収支差額が一億七千六百三十九万九千九百九十九円(八〇・五%増)・経営収支差額も一億五千八百三十八万七千円と大幅に改善しました。

ちなみに福利厚生費を含む人件費は九億八千四百五十七万円で、人件費比率は六二・二二%(前年度六一・五〇%)です。

サービス残業の撤廃

九月より年末にかけて、加寿苑で三件の「時間外手当等の未払い賃金請求」の事実が起りました。

うち一件は労働組合との回交を五回重ね、本部が全面に出て施設管理責任者と連携して対応し、他の二件とも年度内に解決をみました。

本部が加寿苑に入って管理職・現場責任者との協議、スタッフからのヒアリング等の取組みによりサービス残業問題が明らかとなりました。職員の人員不足問題が背景としてあるのですが、早期退職の続出と新人教育のあり方、介護体制の検討、勤怠管理の問題などの課題が見えてきました。法人本部は、全ての施設・事業にサービス残業が存在していることを確認し、その撤廃を決めました。

時間外業務・勤務の管理方法の改善を図るとともに、過去二カ年に波及し有期雇用の契約職員三十四名にはこの三月に清算支給しました。本務職員百二十二名には新年度八月・十月に清算支給します。

福祉労働に携わる職員が「やりがい」を実感でき、安定・充実した労働環境の中で「加島友愛会で働くことに誇りをもって」よう、努めなければなりません。

フレッシュな職員から





この春から各施設で働いている新人職員を紹介します。



“COCOLO” 相談支援センター

よしの 梨紗

最近ようやく慣れ始め、利用者の方と楽しく料理等を作ったりしています。利用者の方との関わりを大切に支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。



加寿苑

しらかわ ともか 朋佳

仕事を始めて3ヶ月ほどがたち、「嫌やなー」と思うこともありますが、それ以上に「嬉しいなー」と思うことがたくさんありました。利用者さんが私の名前を覚えてくれた時、「距離が縮まった！」と感じた時…。小さなことですが、「この仕事を続けていきたい」と思えたきっかけです。

これから先輩を見習い、自分らしさも忘れることなく頑張っていきたいです。



アンダンテ加島

とみはら ちさと 千翔

勤務し始めて3ヶ月が経ちましたが、利用者の方と関っていくなかで、多くの発見や驚きがあり、大変ながらも楽しい日々を過ごさせていただいています。

福祉系の大学や専門学校に通っていたわけではないため、知識も経験もゼロからのスタートですが、利用者の方々や御家族様に安心して生活していただけるよう、これからの支援に尽力したいと思います。



Link

いしづか あいみ 石塚 愛美

3月までは専門学校に通う学生でした。在学中は保育や社会福祉の専門知識を学び、実習も多く経験することができました。その中で実習のひとつとしてLinkで職員実習をさせていただくことになり、3週間という短期間でしたが多くのことを学ばせていただきました。

この経験がきっかけで、就労支援に興味を持つとともに、Linkのスタッフとして働きたいという思いを持ちました。そしてこのたび、今年度よりLinkで働かせていただくことになり、喜びと同時に、職員の一員となったことに改めて身の引き締まる思いをしています。

まだまだ未熟な身ですが、利用者をしっかり就職まで導くことのできる職員になれるよう、努力を惜しまず頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



加島希望の家

やぎら たけし 柳楽 健

今春に専門学校を卒業し希望の家で働いています。

人と関わることが好きで、人と関われる仕事をとって福祉の道を選びました。まだまだ分からないことがたくさんありますが、周りのスタッフの方々に支えられ過ごす毎日です。一生懸命頑張るのでこれからよろしくお願いします。

加寿苑

外出・レクリエーション、もりだくせん



ふれあいコンサート

五月六月は外出をしたり、ボランティアさんが来たりと、利用者の皆さんにとって刺激のある日々が続きました。

外出では、五月二十五日の「地域ふれあいコンサート」に特養音楽クラブの皆さん七名が出演『加寿苑の歌』など四曲を披露しました。

五月三十一日と六月十四日には、日帰り旅行で計十五人の利用者と家族が神戸・花鳥園と南



神戸・花鳥園で記念撮影

京町に行ってきました。ボランティアの来訪では、五月十五日にフラダンス、二十一日にお好み焼きの風月さんに来ていただきました。六月八日には一芸一座の皆さんに野点とのござり演奏を披露していただきました。

八月十六日(土)には夏まつりを予定しており、「楽しい一日にしよう」と職員が準備にとりかかっています。

リュミエール加島には、いろんな方がボランティアに来てくれます。四月三十日には、チェロ(来住姫乃さん)、バイオリン(奥裕太さん)の演奏会を開催しました。

『シャルウィダンス』でオープニング。自己紹介と楽器紹介に続いて二重奏を聞かせてもらいました。曲目は、『アメジツンググレイス』『オーバーザレインボウ』『海の見える街』『大きな古時計』。どの曲も聞き覚えのあるメロディの、バイオリンとチェロの音色が重なった素晴らしい演奏に、みなさん聞き入っておられました。

次にみんなで歌いましょうと『こいのぼり』『荒城の月』『上を向いて歩こう』を伴奏してもらい、みなさんで心地よく歌いました。最後にアンコールの『見上げてごらん夜の星を』を歌って楽しい時間があっという間に過ぎていきました。

たまたま、入居者のご家族も何人かおられました。生のバ



イオリン、チェロの演奏を聴く機会など、そうあるものではありません。次の機会がありましたら、ご家族にもお知らせしたいと思いました。



バイオリン・チェロ演奏会

リュミエール加島

加島希望の家

田植えをいっぱいしました



ちよっと苦手な人は真っ先に畝の前で陣取って農園の方が準備するのを待ちかまえています。担当の人が畝に張ったビニールに作付けように穴をあけて、芋のツルを手渡してくれるのですが、皆さん次々にツルをもらいにいくので、担当の方も大忙しになっていました。

五月十八日(日)、JA東びわこ(滋賀県)のふれあい農園・田植えツアーに行ってきました。当日は天気もよく、田植え日和になりました。初夏を思わせる天気でしたが田んぼの水はまだまだ冷たくて、最初の一步で「冷たい！」の声があちらこちらで上がっていました。

希望の家のみなさんは、農園の方から苗をうけると慣れた感じで田んぼに植えていきます。それでも二歩三歩と奥に進むと足を取られて転びそうになると大騒ぎで賑やかな田植えになりました。となりの畑では芋の苗つえもあり、田んぼに入るのが

田植えの後は全員で昼食交流会です。毎年カレーやうどん、焼きそばなど色々な料理を用意していただき希望の家のみなさんも楽しみにしています。午前中たくさん体を動かしたあとだけに一層おいしく、食欲も旺盛。つつい食べ過ぎてしまいます。お腹がふくれた後はお楽しみ抽選会。日頃の行いが幸いしたのか当選者も続出。楽しい一日を過ごすことができました。ふれあい農園での交流会は今年で二十年。しっかり根付いた取り組みになりました。毎回参加者も増えて準備も大変だと思えますが、いつも温かく迎えてくださり、感謝・感謝です。

五月十六日(金)、韓国の慶畿道にある京福(キョンボック)大学福祉行政科の教授と学生の方々が見学に来られました。学生の方は皆さん社会人で、働किながら福祉について学習されているそうです。卒業すると福祉の資格がとれるそうで、卒業後は皆さん福祉関係の仕事をめざしておられます。

今回見学してもらったのは「アンダンテ加島」と特別養護老人ホーム「加寿苑」。アンダンテ加島では日本の障害福祉制度の流れと現状及びアンダンテ加島の活動について説明した後、施設内を見学していただきました。前日の夕方に日本に着き、明日の午前中にはもう帰国されるとのこと。授業の一環としての見学だそうです。特に観光する時間もなく当法人施設の見学のためだけに来られたと聞き驚きました。ご期待に沿えたかと心配になりましたが、皆さん熱心に見学していただきました。

引率の教授は韓国で福祉施設

も運営されているようで、知的障害者や自閉症の方への支援についても質問されていました。アンダンテ加島は全室個室ですが、韓国の障害者入所施設では三人部屋が普通とのことでした。しかし、日本と同じく大規模施設は縮小の方向にあるそうです。また、「韓国では制度がまだまだ遅れているが行政にどう対応したらよいか」という質問もありました。こちらの説明がどこまで上手くできたかは疑問ですが、皆さんの熱心さに私も元気をいただきました。お国は違っても抱えている課題は共通したものであると感じ、共に福祉の前進のため頑張りたいたいと思います。

韓国の大学から見学



アンダンテ加島の前で記念写真

アンダンテ加島

「計画相談支援」3年目

”COCOLO”相談支援センター

「計画相談支援」が2012年度からスタートして早くも3年目を迎えました。

「計画相談支援」とは区役所から依頼を受けて、相談支援専門員が利用する方の希望を踏まえた上で障害福祉サービスの利用に必要な時間や頻度、内容などを具体的なプラン（「サービス等利用計画」）にまとめ、障害福祉サービスの調整などの支援を行います。プランを立てた後も、課題に対してサービスが適切に提供できているか、サービスを利用したことで課題がどの程度改善されたかなどについてふりかえり（「モニタリング」）やヘルパー事業所を始めとする関係機関へさまざまな後方支援も行っています。

そのため私たちは表舞台に出ることは少なく、どちらかといえば裏方役になります。

「計画相談支援」自体が複雑で分かりにくいなどの問題を抱えながらも来年3月までに障害福祉サービスを利用するすべての方が対象となる予定です。気になることがあれば遠慮なくご相談ください。



楽しい1年になるように

むつみ

むつみは生活介護事業が8年目、就労継続支援事業B型が4年目になりました。新しい利用者を迎え、スタッフも少し担当や役割を変更しました。利用者さんもスタッフも、一人ひとりが新しいチャレンジに向かって進んでいけるよう、取り組んでいきたいと思えます。

生活介護事業では、個別支援の充実を基に、軽作業やリハビリ、外出やレクリエーションなども活発に行い、ハリのある生活が送れるよう支援していきます。

就労継続支援事業B型では、働くことを支援していくと同時に、社会生活におけるマナーの習得など、生活面も含めた視点からのサポートもしていけるよう取り組んでいきます。

今年度も支援のあり方を常に見直し、楽しい1年になるようスタッフ一同心を揃えてがんばっていきます。



かしま障害者センター

トレフル1周年

地域生活支援部

リュミエール加島の敷地内にトレフルが開所して1年が経過しました。2月に定員を1名増やし、入居者5人での共同生活を送っています。個人個人の仕事の関係で全員が一緒に食卓を囲む機会がとれないのですが、今回は1周年記念ということで、夕食の時間を少し遅めにしてホームパーティを開きました。

食事をしながら仕事のことや、新しい年度の抱負など語ってもらいました。共同生活を送るうえでの役割分担や入浴の順番待ちなどのルールがあるため、少し不自由を感じることもありますが、皆さんホームでの生活を楽しんでおられるようでした。

今年の4月からグループホーム・ケアホームの呼び名が、グループホームひとつに統一されました。支援の形態についても生活場面でヘルパーを利用したり、より一人暮らしに近い形態のホームも制度上認められるようになりましたが、当法人では今までと変わらず、世話人を置き支援するかたちでグループホームを継続します。





行事企画委員会を設置

Link

2014年度、Linkでは新たに10名の利用者を迎え、スタートしています。朝礼では、誕生日を迎えた利用者・職員が意気込みを話したり、自己紹介をしたりして、「1分間スピーチ」のような取り組みを始めました。朝から笑いがあったり意外な一面を発見したりと新鮮な毎日です。

また新たな取り組みとして行事企画委員会を設けました。委員は約10名、2ヶ月に1回程度で開催するサークル活動の内容を話し合います。どんなことをしたいか、予算や集合時間はどうするかなどを決め、予約が必要な場合は委員が電話やFAXを使って行います。

意見がまとまらないときは、譲り合ったり多数決を取ったりしました。裏方で職員の支えはあるものの、この1年で協力し合うことや物事の段取り等を経験され、自主的に行う自信がついたと感じています。この自信が他の場面でも活かしていけるよう、私たち職員も裏方で支えたいと考えています。

昨年度は13名の就職者を送り出すことができました。今年度も働くことの支援を軸に職員一同、がんばります！

新しい仕事にもチャレンジを

ル・プラス

昨年5月1日に就労継続支援事業（A型）の指定を受けて、1年が経過しました。利用者の方も定員と同じ20名になり、支援スタッフもスタート時の4名から6名に増えました。利用者の方といっても、支援スタッフと同じで加島友愛会と雇用契約を締結している法人の職員です。共に働く仲間として、お互い信頼し、尊敬をして皆仕事に取り組んでいます。

仕事の内容や種類は少しずつ変化して過ごした1年でしたが、日々の仕事に追われるなかでも全職員が働くことの充実感を持つことができたのではないのでしょうか。

今年度も新しい仕事にチャレンジする機会が出てくると思いますが、忙しい中でも個々の就業生活で目標が持てるような職場環境づくりをみんなで力を合わせてやっていきたいと思っています。



▲1分間スピーチに取り組む



▶行事企画委員会で議論

❖ 加島友愛会後援会 ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございます。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。会費の2013年度の納入状況をお知らせします。今年度もよろしくご協力をお願いします。

| | | | | | |
|---------|----|------|------|----------|-------------|
| 後援会加入状況 | 団体 | 14団体 | 18口 | 180,000円 | |
| | 個人 | 152人 | 188口 | 557,000円 | 合計 737,000円 |

(新たに個人会員として9人に加入いただきました)

引き続き、加島友愛会後援会をよろしくお願いいたします。

* 見学会のご案内 *

開催日 **6月28日(土)・29日(日)**
7月19日(土)・20日(日)
 時間 **10:00～16:00**

リュミエール加島



介護付有料老人ホーム

**** 期間中見学の方に特典 ******
体験入居 1泊分 5,000円無料!

見学会開催期間中にご予約の上見学され、3泊4日から5泊6日の体験入居を申し込まれた場合、1泊分5,000円を無料にさせていただきます。この機会にぜひ体験入居をお申し込みください。

ご予約・お問い合わせ・ご相談

フリーダイヤル **0120-087-322**
 電話 **06-6308-7788**

リュミエール加島 大阪市淀川区加島4-16-35
 見学会開催期間以外の見学も受け付けていますので、ご予約ください。ただし、体験入居の1泊分5,000円無料は適応しません。ご了承ください。

リュミエール加島では…

岩風呂・ひのき風呂で温泉気分での入浴
専属理学療法士によるリハビリ
専属鍼灸マッサージ師のマッサージ・鍼灸
滋賀産直の低農薬有機栽培米のごはん

…等々充実したサービスを提案しております♪
 詳細はご見学時に説明させていただきます。



ご利用料金

介護付有料老人ホーム

| | |
|--------------------------|------------|
| Aタイプ (約45㎡) 入居一時金 | 4,000,000円 |
| キッチン・ユニットバス装備 | |
| 月額利用料 | 248,600円 |
| ※好評につき満室 | |
| Bタイプ (約20㎡) 入居一時金 | 1,800,000円 |
| 月額利用料 | 136,800円 |

※月額利用料には家賃、管理費(居室の光熱水費含む)、食事代・リネン代(Aタイプは2人入居、A・Bタイプとも30日で計算)が含まれます。

* 介護保険自己負担分等は別途

ミント小規模多機能型居宅介護

(通い・宿泊・訪問サービス)

- 宿泊代
一泊2,000円 リネン代 1セット105円
- 食事代
朝食/200円 昼食/600円 夕食/600円

* 介護保険自己負担分等は別途

体験利用受付中

| | |
|-----------------|-------------------------|
| リュミエール加島の体験入居 | 一泊/5,000円 (5泊6日まで可能) |
| ミントの通いサービスの体験利用 | 700円 (昼食・おやつ) |

インターネットで検索 リュミエール加島

定期的に更新している「リュミエール加島のブログ」や、「ホームズ」「オアシスナビ」等の紹介サイトがご覧になれます。

JR東西線加島駅下車北へ徒歩8分
 梅田・十三より市バス97号「加島駅前」行き
 阪急バス「加島駅前」行き「加島西(加島3丁目)」で下車

